



Album Title: Hymns Of The 49th Parallel
Artist: k.d.lang
Label: Nonesuch
Number: 79847



カナダの女性アーティストがカバーする、寒い日に聴きたくなるアルバム。

朝起きたら、雪が降っていた。初雪だろう。家の近くにある山を見てみると、森はがんばって真っ白になろうとしていた。そしてインターネットでいくつかのサイトを調べて見てみると、鎌倉の由比ヶ浜海岸では雪が砂浜を真っ白なブランケットのように包んでいた。寒くても雪が降っていると感じ方が違うように思う。雪の日に暖かいダウンジャケットを着て、ホッとする感じ？ それとも暖炉の前でぬくもりを感じながら座っている感じと比べいいのか。手の中に大事に持っている温かいホットチョコレートかもしれない。優しさのある寒さ。思わず僕はこのアルバムをかけてみた。寒い日はなぜか寒い国の曲が聞きたくなるんだ。

このアルバムはカナダ人のケイ・ディ・ラングが2004年にリリースしたもの。僕は彼女のアルバムの中でこの作品が一番好きだ。彼女は元々、オルタナティブカントリーのアーティストとして、1984年にデビューした。それから少しずつアダルトコンテンポラリーの方向に向かっていった。常に成長が見られ、面白く新しいものにチャレンジしていくアーティストとして評価も高い。

タイトル『Hymns Of The 49th Parallel』は、カナダとアメリカの間の国境を指している。カナダでは隣のアメリカの文化がたくさん入ってきているが、これはカナダ人にとってあまりおもしろいことではない。アーティスト達も成功すると、ニール・ヤングやジョニー・ミッチェルみたいにアメリカに引越してしまうケースが多い。このアルバムはそんな背景を受けて、カナダのシンガーソングライター達の曲を彼女がカバーし、フィーチャーしている。カナダの冬の寒さを感じさせる選曲だ。11曲のなかで、ケイ・ディ・ラングのオリジナルは一曲だけ。残りの10曲はカナダでは誰でも知っている名曲ばかり

だ。フィーチャーされているのはニール・ヤング、ジョニー・ミッチェル、レナード・コーエン、ブルース・コバーン、ジェーン・シベリーとロン・セクスミス。それを彼女はさわやかなベース、ドラム、ピアノのトリオ、そしてたまにストリングスを足している。曲の良さを引き出すために余計な飾りやスタジオ製作のトリックを使わず、まるで森の中のログキャビンで行っているプライベートコンサートみたいなプロダクションに仕上げている。最初にニール・ヤングの「アフター・ザ・ゴールド・ラッシュ」からはじまり、そこからアルバムのムードが決められている。レナード・コーエンの「ハレルヤ」も、その流れにじっくりときて、まるで彼女のための曲かと思わせるほど、彼女の声にぴったりだ。2010年のバンクーバー・オリンピックのオープニングセレモニーでは、この歌を彼女が披露した。またアルバムのジャケットになっている冬景色の写真も落ち着いた雰囲気、よく見るとスノーボウルが飛んでいるのがユニークだ。

彼女がこのアルバムを発売した年、日本にもライブのためにやってきた。僕も当時やっていたラジオ番組でインタビューするチャンスがあり、ラッキーだった。彼女は飾りのないカジュアルなアーティストで、インタビューのときも、ライブのときも、裸足だった。ちょっと不思議だったよ。だって冬を表現しているアルバムのライブなのに、裸足なんだ。聞いたらいつも彼女は裸足らしい。そういう僕も、こんな雪の日に裸足だけだね。ちなみにジャケットの写真のタイトルは、オークツリー・スノーボウル。アンディ・ゴーズワシーという写真家が撮った作品で、彼女がずっと好きで、いつかコラボしてみたいと思って温めていたらしい。日本に住んでいると年に数回しか雪は降らないけど、そんな日にはふと、僕はこの裸足の彼女と、彼女の歌を思い出す。★

PROFILE

ジョージ・カックル

1956年鎌倉生まれ。日本人で日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父を持ち幼少時代を日本・テキサス・韓国で過ごす。小学3年生でビートルズに開眼。LAで有名なサーフポイントでの初サーフィン体験。この原体験が彼のその後の人生を決定付ける。日本での学生生活の後、憧れのインドをはじめ世界を放浪し、ハワイ経由でサンフランシスコに移り住み18年間波乗り明け暮れた。1995年帰国後、生まれ故郷鎌倉へ音楽マネージメント&制作会社を立ち上げ、日本のミュージックシーンにbabamaniaなどを輩出。音楽プロデューサー、コラムニスト、作詞家(マッドカプセルマーケット、阿川泰子など)として、2006年の8月には子供の英語・音楽教育用の本『ウクレレ・マミー・アンド・ミー』を出版。古今東西の音楽と文化と人間臭さをこよなく愛し日本と世界を結ぶ架け橋になりたいと願い、今日もポップ・マーリーを聞きながらサーファーとしても多忙な日々を送っている。

現在、インターFM (76.1) 毎週日曜日、9:00～13:00 レイジーサンデーを担当。 SHONAN BEACH FM 78.9 STARLIGHT CRUISING Thursday 8-10pm